

西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第284号 平成8年8月



『夏雲』 近藤友好

目

次

	頁		頁
1. “緊急提言” O-157について		6. 文芸随筆諸事百般	
村山正昭 … 2		短歌	鹿野純一 … 13
2. 納涼の夕べ開催	広報部 … 3	7. 伝言板 ………………	13
3. 理事会報告	広報部 … 5	8. 地区だより	
4. 会員通知・医師会の動き	事務局 … 9	羽村市学校保健会	真鍋 勉 … 14
5. 各部だより		福生市学校保健会	道又正達 … 14
学術インフォメーション	学術部 … 10	9. お知らせ	事務局 … 15
学校医部委員会報告	学校医部 … 11	10. 表紙のことば	近藤友好 … 16
地域医療部委員会協議報告		11. あとがき	樋口昭夫 … 16
地域医療部 … 12			

緊急提言

病原性大腸菌（O-157）感染

学校医部長 村山正昭

平成8年5月岡山県で発生した病原性大腸菌O-157による食中毒事例は2名の死亡者を出す事態となり、これに続き7月大阪・堺市でも小学校を中心に患者が多発、7月22日現在6,288名に達している。O-157は腸管出血性大腸菌であり、Vero毒素（志賀毒素）を産生するためエンドトキシンによるHUS（溶血性尿毒症症候群）を発症させ死に至ることがあるので初期に抗菌剤投与、輸液療法が肝要である。

本症は比較的軽症例も多いので初期には急性胃腸炎、感染性下痢症としてとり扱われることもある。このため出血性下痢を伴う腹痛患者を診察した際は本症を念頭において便培養を実施すべきである。同時に家族内、友人に同様の症状を示すものがないか、共通の食事を摂っていないかなど慎重な問診が重要である。

近年、下痢症の治療にニューキノロン剤が繁用される傾向にあり、本症にも有効であるので、感染を疑った場合ニューキノロン内服前に採便するのは必須である。

感染源は調査中であり給食の食材料が原因とされ、牛肉（レバー）おなかサラダが特定されている。世界的にみれば、ハンバーガー、生牛乳、野菜、アップルジュース、プール、飲料水でもO-157は検出されている。今後感染例が全国化すれば、水源、水道水、受水槽の管理が重要となり9月新学期までに終息しなければ学童に加熱水道水を持参させる事態も考えられる。食品の加熱温度として75度

1分以上で安全とされており、加工食品についても給食センターで食材として利用する場合加熱するのが無難である。東京都においては給食はセンター方式であり、青梅市は2ヶ所（藤橋・根ヶ布）。羽村市は瑞穂町と羽村・瑞穂地区学校給食組合によるセンター方式である。センター方式・自技方式の感染経路としての差は明らかではないが、堺市の場合センター方式で1名の発症もない学校があり食材の経路だけではないかもしれない。

8月に入ると林間・臨海学校が始まるため排便時の手洗い、清潔な下着、暴飲暴食の注意など日常生活の基本を守るよう生活指導を徹底したい。

プールについては塩素濃度を上げる、河川、湖では遊泳しないなどの注意も必要となろう。

具体的な注意事項は改めて学校を通じて実施したいが、小学1～2年生に多発、重症化の理由として新入生の体力不足、初感染への抵抗力の低下、梅雨時の気候など多様な原因が想定される。

平成8年7月22日



第5回 「納涼の夕べ」 開催

西多摩医師会員の相互理解と病診連携をテーマに恒例の『納涼の夕べ』が、7月22日(月)午後7時30分より、福祉担当片平理事の司会により、70名程の会員が集まりホテル福生国際会館で開催されました。

宮川会長の開会挨拶に続き、青梅総合病院の星院長の乾杯の音頭で生ビールで乾杯を行いました。豪華なバイキングと生ビールで座が賑わう中、病院会員の紹介が行われました。

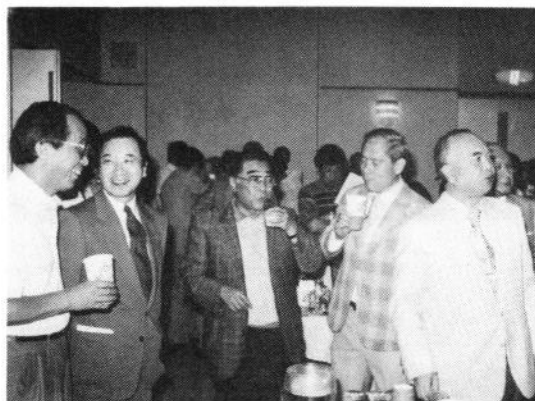
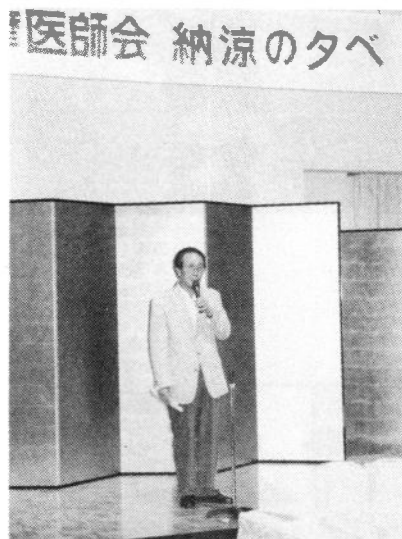
青梅総合病院の9人の先生方を坂本先生が紹介され、桜井副院長より、青梅総合病院が此度、AIDS拠点病院となったので、AIDS診療のネットワーク作りに向け医師会員の協力をお願いしたいとの話がなされた。

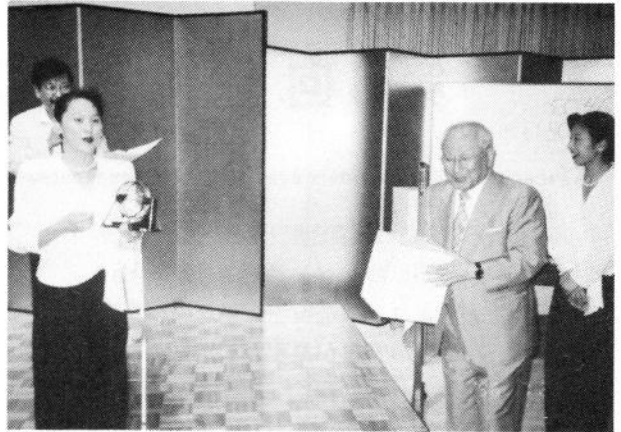
次に福生病院の6名の先生方を森院長が紹介され、福生病院の移管問題についての経過説明がなされた。次に阿伎留病院の4名の先生方は各々自己紹介をされ、平沼院長より、今後の抱負が話された。その他、青梅すえひろ苑、今井病院、梅園病院、東京厚生病院、高木病院、大久野病院、大聖病院の会員紹介が行われた。

引き続き新人紹介に移り、青梅の新町クリニック 高木 敏先生、日の出の大久野病院 進藤 晃先生、福生の島井内科小児科クリニックの島井新一郎先生の紹介が行われた。

恒例の福引きは、本年はビンゴゲームで一等から景品を当てていくことになり、星院長が、一等の8mmムービーを当てられました。13等まで、豪華な景品を続々と引き当てていく内に、会も終盤になり、一の締めを道又、森先生の手で、二の締めを川崎先生によって締めてもらい、大堀副会長の閉会挨拶で、納涼の夕べは終了しました。

(広報部)





理事会報告

★ Information

7月定例理事会

平成8年7月8日

西多摩医師会館

【1】 報告事項

- (I) 多摩地区医師会庶務担当理事連絡会報告 (玉木理事)
 平成8年6月28日 於 北多摩医師会館
 出席：玉木理事、八王子医師会長（幹事地区）、多摩地区庶務担当理事
 議題：医師会立訪問看護ステーションの経営状況について。
 国分寺、田無、保谷等の数ヶ所で、設立2～3年後といった所で、2年目より大体黒字化している。1ヶ月70人の患者で延250回位の出動で年間収入3,000万円位になるそうです。収支はトントンか500万円位の黒字までで、収支の状態は主としてスタッフの人件費の額の設定の差によるようです。
- (II) 多摩ガン検診センター連絡協議会報告 (宮川会長)
 東京都医師会より、一次検診はなるべく各地区の医師会員でやってほしいとの要望が出された。
- (III) 多摩地域保健医療計画協議会報告 (宮川会長)
- (IV) 老人保健施設協議会報告 (石田理事)
 調布、八王子では老健施設が過密化してきて、80%位の稼働率で、患者さんの取り合いも心配されている。需要とベット数のバランスを医師会でも把握して調整する必要があるのではないか。
- (V) 各部報告 (各担当部長)
 (学校医部) 6月27日、学校医委員会報告…詳細は「各部だより」に
- (VI) 各地区会よりの報告 (各地区長)
 (青 梅) 6月28日総会、平成7年度活動報告及び決算報告。
 (羽 村) Fax 導入準備金を会員に交付し、8月までに全会員にFax 導入予定。
 (福 生) 地区役員と市福祉担当職員と会合予定。議題は情報提供書の書式について、福生病院の移管問題について等です。
 (日の出) 進藤淳先生の送別会を行なった。

【2】 報告承認事項

- (I) 入会会員について — 承認 — (玉木理事)

【3】 協議事項

(I) 会長諮問委員会委員について

(玉木理事)

下記の案で承認された。

第1回委員会開催については、近々予定するとのことで、平成9年11月までに結論を出す予定で討議を重ねていく予定です。

各種会長諮問委員会委員案

敬称略 *理事

	定款施行規則改定検討委員会	互助会あり方委員会	情報伝達検討委員会
青 梅	*大堀洋一 (副会長・地区長)	吉野住雄	中野和広・卞 在正
羽 村	*真鍋 勉 (副会長・地区長)	横田卓史	山川淳二
瑞 穂	*高水松夫 (経理・地区長)	小林康光	新井敏彦
福 生	林 實 (地区長)	山田正哉	田村啓彦
あきる野	*小机敏昭 (総務・地区長)	鈴木孝寿(病院B会員)	池谷敏郎・甲原資秀・瀬戸岡俊一郎
日の出	川崎健一郎(地区長)		
奥多摩	川辺隆道 (地区長)		
檜 原	内田萬次 (地区長)		
	*坂本保己 (地域医療・病院)	*石田信彦(病院)	*樋口昭夫(広報)
		*片平潤一(福祉)	*小机敏昭(学術)
	野本正嗣	*玉木一弘(総務)	*玉木一弘(総務)

(II) 西多摩地域保健医療推進協議会の議題の件

(玉木理事)

7月23日 開催予定

自治体よりの議題

1. 母子事業の自治体移管について
2. 青梅総合病院、救急救命センター建設について
3. 老健施設について

医師会よりの議題

1. 市町村への情報提供書の書式統一について
2. 西多摩での大規模災害時の救急体制について
3. 乳幼児医療費無料化の所得制限撤廃の要望書について

(III) 「移動理事会」及び「納涼の夕べ」について

(各担当理事)

7月23日 五日市の「佐五兵衛」にて移動理事会予定

「納涼の夕べ」について、現在出席予定30数名。積極的に参加を呼びかける。

協賛については順調に集まっている。

(IV) その他

各地区の学校保健医会の活動について、積極的に会報で紹介していく。

7月定例理事会

平成8年7月23日 五日市「佐五兵衛」

【1】 報告事項

(I) 都医地区医師会長協議会報告

(宮川会長)

1. 都医からの伝達

(1) 平成8年度外国人未払医療費補てん事業について

財団法人東京都保健医療公社が、東京都より支払い業務を受託し、申請受付を平成8年10月1日から開始する。

(2) 医療廃棄物の適正処理について

収集作業員の針刺し事故が多発し、社会問題になりつつあるので、十分に配慮するように。又在宅介護医療についても医師側で注射針等を回収するように。

(3) 都医雑誌、生涯教育欄「サマリー」について

都医雑誌の中のサマリー欄はブルーのページで切り取り線があるので利用されたい。

(4) 社会保険診療の支払過誤について

あさひ銀行で支払過誤があったので、今後このようなことのないように抗議文を銀行頭取あてに送付した。

(5) 東京都立病院における非紹介患者初診料の設定について

特定療養費として1,100円を患者より徴収する。

(6) MXテレビへの協力依頼について

医師会のPRとなるので是非協力してもらいたい。

(7) 訪問看護ステーション設置状況について

訪問看護ステーション 102ヶ所

在宅介護支援センター 93ヶ所

2. 協議事項

病原性大腸菌による食中毒事例について厚生省より一部医療機関へFAXが流れたが、今後は医師会へもFAXを入れるよう申し入れた。

3. 地区医師会からの報告

(1) 妊娠HIV母子感染予防事業の実施について [杉並区医師会]

7月1日より公費で行なうようになった。

(II) 地域医療委員会報告

(坂本理事)

「各部だより」に詳細。

(III) 各部報告

(担当部長)

(学校医部) 「各部だより」に詳細。

(公衆衛生) 7月10日地区医師会公衆衛生担当理事連絡会報告。

(IV) 各地区会よりの報告

(各地区長)

(青梅) 校医、校長、養護教諭、教育委員会との会合で、治癒証明書の500円公費負担について検討していく。

(V) 西多摩地域保健医療推進協議会報告

(宮川会長)

7月23日(火) 青梅福祉センターにて

行政側：管内各自治体首長

医師会側：会長、副会長、総務、地域医療、公衆衛生担当理事、事務長
議 事

① 母子事業の市町村移管について

従来の三者協から五者協に変わる。

② 青梅市総合病院の救急救命センター計画の説明

③ 医師会側よりの要望

1. 医療協の場に行政の福祉担当者の同席を要望する

2. 大規模災害の時の西多摩での医療救急活動について協議していきたい

3. 市町村への診療情報提供書の書式統一について

4. 乳の所得制限撤廃についての要望書について

5. 喉頭癌検診の実施について要望

6. 老健施設について

梅園病院の老健施設の計画報告

【2】 報告承認事項

(I) 入会会員について

— 承認 —

(玉木理事)

(II) 8月中の理事会は恒例により休会とする件

— 承認 —

(玉木理事)

【3】 協議事項

(I) 西多摩三師会役員改選の件

(玉木理事)

8月24日の三師会総会の際に医師会側の新役員を選出する。

宮川会長、松原監事、真鍋副会長、玉木理事を推薦する。

(II) パソコン保守契約について

(玉木理事)

9月の理事会で協議予定。

各部だより



学術部

Information



8月、学術講演会はありません。あしからず御了承下さい。但し、下記の如く西多摩三師会主催、市民講演会が開催されます。医学とは全く違った観点から「緑の大切さ」が語られます。是非聞きに来て下さい。

西多摩三師会主催 市民講演会

近年、環境問題がよく話題になります。

自然環境、地球環境、環境汚染、大気汚染、森林伐採、地球にやさしい、失われつつある緑、など新しい言葉が世界中で流行しています。また、最近では、園芸ブームが起こり、ガーデニングと称し、家の中ばかりでなく、家の外もきれいな花と緑で飾り、快適な生活を楽しむ人が増えてきました。

「緑」に対する関心の度合いは年々増しているようです。

今回の講演会では「緑と環境」について考えます。

講師には自然派造園アーティスト 原田馨人氏 をお招きいたしました。「森と林のちがいがい」、「さと山」など身近な話から自然環境問題について語っていただきます。とても興味のあるお話です。

皆様お誘い合わせの上、ご出席賜りますよう、お願い申し上げます。

敬 具

記

日 時：平成8年8月24日(土) 午後2時30分～4時

場 所：羽村コミュニティーセンター 3Fホール

(羽村市緑が丘5-2-6 TEL 0425-54-8584)

演題名：『身近な緑』

講 師：造園作家 原 田 馨 人 氏

*入場無料

《9月の学術講演会》

- ① 9月11日(水) 7³⁰ pm～ 於：ホテル福生国際会館
 演題名：「気管支喘息の治療と現況」
 講師：青梅市立総合病院内科 大玉 信一 先生
- ② 9月20日(金) 7³⁰ pm～ 於：ホテル福生国際会館
 演題名：「骨粗鬆症の予防と治療」
 講師：東京大学第4内科 福本 誠二 先生

学校医部

学校医部委員会報告

平成8年6月27日
 あきる野市「ボア」にて

- 議題 I. 今期の学校医部活動について
 II. 第12回西多摩学校保健連絡協議会

- I. 1. 第47回 13大都市学校保健協議会
 5月25日、26日、27日
 幕張メッセ
2. 第194回学校保健セミナー
 「どう防ぐ、児童・生徒の突然死」
 7月2日
 グランドヒル市ヶ谷
3. 平成8年度関東甲信越静学校医協議会
 8月30日
 前橋市マーキュリーホテル
4. 第27回全国学校保健・学校医大会
 11月16日
 佐賀市マリトピア文化会館

- II. 第12回西多摩学校保健連絡協議会
 11月第4木曜日を予定
 時間 1:30～3:30
 場所 福生 福生地区会担当

学校保健法の改正により、眼科・耳鼻科検診で異常があり、専門医受診が指示された場合その受診結果を報告書という書面で保護者捺印で学校へ提出させている自治体がある。

診断書・治癒証明などの公文書と異なり、報告書では文書料の徴収について意見の相違が出ており、調整のうえ統一見解を出す必要がある。具体例として自然経過で治癒したので治癒に丸印を書いてくれ、他院で治療を受けたが本日休診なので丸印を書いてくれなど保護者側の都合で受診窓口での混乱も生じている。

学校関係の文書料について、500円あるいは1,000円で統一されておらず、今後行政との折衝により公費500円、保護者500円負担の案が提案されている。

(学校医部 村山)

地域医療部**第一回地域医療部
委員会協議報告**

開催日時：平成8年7月11日

午後7時30分より

場 所：西多摩医師会館

協議事項：1) 老健施設ほか病院施設開設の
同意のあり方。

2) 医師会からの要望すべき方針
(特に地域保健医療充実の立
場から)。

決定事項：

1) の件について

- (1) 同意のための申請書類を整備し、公正に審査を行なう。
- (2) 開設の同意には地区会の考えを充分くみあげ、結論を尊重する。
- (3) 開設同意の必要性については、出席者に意見を求めた結果、医師会が地域医療を担う立場上、開設施設に会の基本方針に賛同協力を求めることで異論はなかった。

2) の件について

- (1) 医師会は各保健医療施設に対し、医師会活動および地域医療の両面で協力を要望し、その要望内容(案として別紙にて提出)の了解をもって開設同意の条件とする。
- (2) 開設者と医師会代表者の面談の機会をもち、意見、情報の交換を行なう必要がある。

(地域医療部 坂本)

**地域医療に携わる
各施設への要望**

西多摩医師会(以下医師会)では会員相互の尊重と連携に基づき当地域医療の充実と発展を図るために、以下のことがらに対し貴医療施設(以下施設)のご賛同とご協力を要望いたします。

1. 医師会活動について

- 1) 医師会活動に参加し、地域医療活動の推進にご協力下さい。
- 2) 自治体の各種保健・医療事業には可能な形でご参加、ご協力下さい。

2. 地域医療について

- 1) 施設の機能とその利用についての情報を広く公開し、それによって各施設間の連携を強め、地域医療の向上が得られるようご協力下さい。
- 2) プライマリーケアの充実のため、専門医との協力診療、各施設相互の連携による包括的かつ継続的な医療が行われるようご協力下さい。

3. 地域との結びつき

- 1) 施設は利用者との信頼関係を大切にし、よって地域住民の地域医療に対する信頼と理解を高めることにご努力下さい。
- 2) 施設はその専門性、技術力に片寄らず、利用者の人間性を尊重した医療の提供にご努力下さい。
- 3) 施設間の協力により在宅診療ならびに訪問看護を推進し、地域に根ざした医療の普及にご努力下さい。

文芸随筆諸事百般

短歌 鹿野純一

梅雨どきの灰色の空の彼方より

毎朝聞えるかっこうの声

多摩川のほとりにアカシアの木が繁る

誰が植えたか花は清ら

ねむの花ピンクにぼんやり咲いていた

わが虫垂炎の病室の窓

海軍の特攻隊の生き残り

今は夫婦でバラ作りする

やせてるなと同窓会で声かけし

海兵出身ガンで亡くなる

終戦後コレステロールは今よりも

関心うすく食糧不足

伝言板

絵画展「杏展」のお知らせ

絵画部恒例の展覧会を8月26日(月)～9月1日(日)まで
福生駅ビルプチギャラリーにて開催します。

--- アンケートのお願い ---

会員の諸先生方は夏休みをどのように過ごされているのか、特集を組むことになりました。

ついては、8月下旬に編集部員が手分けして、電話アンケートを行います。

アンケート項目は夏休みの有無、日数、いつ頃、休みの過ごし方、感想です。

御迷惑をおかけしますが、宜しく御協力の程お願いいたします。

(広報部)

地区だより

羽村地区

第3回羽村市学校保健会総会開かる

羽村市学校保健会の第3回総会及び講演会が6月29日、羽村市庁舎内会議室で開催された。総会後の講演会は筑波大学副学長の森昭三先生が、「子どものこころとからだを考える」—学校保健の立場から—というテーマで教育学者の目から見た子どもたちの置かれている現状とその問題点に対する学校保健の対応を中心に興味ある事例をあげながら講演された。

(文責 真鍋)



福生地区

福生市学校保健会総会レポート

去る、6月29日、会誕生より6年目にあたる総会は会員の方々の熱気に包まれながら盛會に終始致しました。平成6年の法改定(学校保健法・予防注射法)の学校サイドとの対応も平均的な評価が受けたものと思います。なお、当日大変有意義な講演会を当会が主催致しました。(於：福生市民会館)

講師—児玉隆治先生(東京学芸大学教授)

精神科医、専門—精神保健学・精神病理学人様のメンタルヘルスを生業としながら自らのそれには、もっぱら酒しか知らないという危ない医者でもある。とプロフィールに書いてはばからない味わい深い教授でした。ここでは紹介しませんが多くの著書があります。

《講演要旨自筆》

「心の健康」と学校
東京学芸大学教授
精神科医
児玉隆治



健康がやたらと喧伝される現代はまさに「健康の時代」ではある。しかしそれはもとより健康な時代を意味するものではない。むしろ不健康な時代だからだといえよう。なか

でもことさらに「心の健康」ということが近年叫ばれるようになったのはなぜだろうか。そもそも「心の健康」とはなんだろう。

子どもたちのそれが学校教育との絡みで論じられなければならないのは、不登校やいじめといった学校不適応が増えている現実学校が直面しているからなのであるが、実は今日の学校システムには必然的に「心の健康」を阻害する性質をはらんでいるからでもある。当日は、学校特有のシステムが生徒の人格形成にどんな影を落としているかを、さらにはそこでの生活者である生徒たちに共通する今日的な性格像を概観し、「心の健康」を学校教育の場でどう組織的に展開したらいいのかについて考えてみたい。

《聴講のあとで》

今日の問題として『いじめ、非行、登校拒否』はじめ肥満、性教育等々多岐にわたる難問を直接受け取る担任教諭、養護教諭の先生たち出来る範囲で内科校医ともども地区単位で西多摩医師会単位でも精神科医や産婦人科医の協力体制を作り教諭たちとともに問題解決に助言出来ればナイスではないだろうか？

(文責 道又正達)

お知らせ

事務局より お知らせ

9月（8月診療分）の

保険請求書類提出日

9月9日（月）

— 正午迄です。 —

法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を毎月第2水曜日午後2時より実施しておりますのでお気軽にご相談下さい。

- ◎ 相談日 8月は14日（水）
9月は11日（水）の予定です。
 - ◎ 場所 西多摩医師会館和室
 - ◎ 内容 医療、土地、金銭貸借、親族、相続問題等民事、刑事に関するどのようなものでも結構です。
 - ◎ 相談料 無料（但し相談を超える場合は別途）
 - ◎ 申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
- （注）先生の都合で相談日を変更することもあります。

表紙の絵画・写真・御意見・文壇
毎月15日 〆切

原稿募集

原稿
事務局長又は
広報委員まで
投稿自由
諸事百般



表紙のこぼ

『夏雲』

山へ登れなくなったので「日本百名山（深田久弥）」のビデオ（山溪社）で居間登山を楽しんでいる。

今頃は日光キスゲがきれいだろうとアルバムを見ていたら、八島湿原入口に見事な入道雲を背景にした日光キスゲの群落があった。高原は夏真盛りである。

近藤友好

あとがき

「病原性大腸菌O-157」による集団食中毒の被害が拡大している。衛生観念の強いはずの日本でこのように感染者が多発したのは何が原因であったのか詳細な調査が待たれる昨今であるが、75℃の湯で1分間の煮沸を行えば菌は死滅するという事なので、今の所食品は十分な加熱を行うのが予防策のようだ。当分の間、我が家でも魚のさしみ、レアステーキ、牛のたたき等は控えましょうという事になった。下痢気味の患者さんの中にもO-157ではないかと心配している人も出始めているが、料理の調理法等を聞かれると、普段、食べる事にのみ徹している小生などは答えにつまる此頃である。諸先生方、絶対にO-157の心配のない夏バテ予防スタミナ料理を紹介してもらえないでしょうか？

樋口昭夫



社団法人 西多摩医師会

平成8年8月1日発行

会長 宮川栄次 〒198 東京都青梅市西分3-103 TEL 0428(23)2171・FAX 0428(24)1615

会報編集委員会 樋口昭夫

石井好明 片平潤一 百瀬真一郎 高水松夫

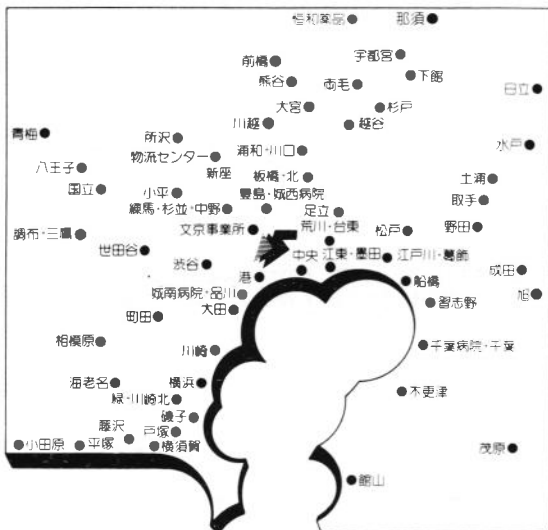
田村啓彦 奥野 仁 小机敏昭

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428(22)3047・FAX 0428(22)9993



医薬品総合商社

地域社会の健康に奉仕する 福神ネットワーク



病院一・1	北	相模	原沢	所川	沢越
病院一・2	豊	相模	原沢	所川	都
病院二・1	品	老	名	宇	宮
病院二・2	大	田	塚	那	須
城西病院	田	葉	原	両	毛
城南病院	田	千	葉	前	橋
文	世	千	成	水	戸
千	茂	成	旭	土	浦
代	田	成	志	取	手
新	谷	立	野	日	立
中	田	子	船	下	館
港	宿	梅	木	特	販
足	央	田	館	医	器
江	八	一	茂	療	器
戸	青	二	清	C	S
葛	野	布	川	診	S
江	船	羅	越	断	器
墨	小	川	杉	薬	器
荒	平	崎	大	文	器
台	三	北	熊	京	器
観	横	崎	新	流	器
杉	須	崎	調	布	器
中	須	崎	布	医	器
板	須	崎	医	薬	器
板	須	崎	薬	品	器
二	須	崎	セ	ン	器
	須	崎	ン	タ	器
	須	崎	ー	ー	器
	須	崎	株	式	器
	須	崎	会	社	器
	須	崎	福	神	器
	須	崎	株	式	器
	須	崎	有	限	器
	須	崎	公	司	器
	須	崎	株	式	器
	須	崎	有	限	器
	須	崎	公	司	器

福神株式会社

本 社 〒101 東京都千代田区内神田一丁目12番1号
TEL.03(3292)3331(代表)

健康の輝きをひろげる。



株式会社 ビー・エム・エル

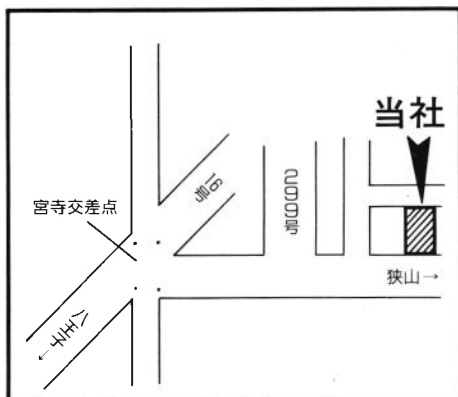
BML

本社・〒166 東京都杉並区高円寺南1-34-5 TEL.03-3316-0111(代表)

総合研究所・〒350 埼玉県川越市約町1361-1 TEL.0492-32-0111(代)

健康と未来をみつめて!!

医療機関における各種検査、学校、事業所の検診
御利用の際は御連絡下さい



埼玉県登録衛生検査所

武蔵臨床検査所

所長 杉田 富徳

埼玉県入間市上藤沢309-8

TEL 0429 (64) 2621

FAX 0429 (64) 6659

最新のテクノロジーが計測します
そして、人の眼と心が記録します



臨床検査のパイオニア

保健科学研究所

本社 〒240 横浜市長土ヶ谷区神戸町106 TEL/045-333-1661(大代表)
仙台支社 〒983 仙台市宮城野区扇町1-3-5 TEL/022-238-9345(大代表)